

小松ゆたか候補 不動の信念

信州版

コロナ対策 地域経済の即戦力

参院長野県補欠選挙が4月8日、告示された。わが党公認、公明党推薦の小松ゆたか候補は「医師としての経験を生かし、政治と医療の架け橋になる」と連日県内各地で必死の訴えを続けている。小松候補はまさにコロナ対策、地域経済活性化の即戦力として、ポストコロナの時代を迎える信州の未来を担うのにふさわしい人材だ。ふるさと信州への思いを訴える小松候補への支持は着実に広がっている。

多様で具体的な政策訴え

告示日の小松ゆたか候補の演説は、あふれる情熱、政治家としての覚悟と信念がこもっていた。「どんなに医療が進歩しても、政治がしっかりしないと国民の命は守れない」と政治家としての原点を語り、新型コロナウイルス感染症の危機にある現在、「今、挑戦しない」と選挙戦を通じてワクチン接種を促す訴えがこもっていた。

小松候補は「医療と政治を繋ぐ架け橋になる」という決意で政治を志し、党長野県第一選挙区支部長の公募をきっかけに医師から政治家に転身した小松ゆたかさん。その信念が揺らぐことはありません。大きな災害、そして新型コロナウイルスとの戦いにある今こそ、小松ゆたかさんは県民の命を守ることができる即戦力となる政治家です。

命と暮らし、地域経済が危機にある今こそ小松ゆたかさんの信念が政治に求められています。



医師として感染対策を徹底して選挙戦を行う小松ゆたか候補



上田市で聴衆に手を振り支持を呼び掛ける小松ゆたか候補。「今、挑戦しない」と訴える姿に共感の輪が広がっている

覚悟と情熱に支援広がる

選挙戦の情勢について、長野市でマイクを握った後藤茂之覚醒連会長は「相手と競り合えば、このまま勝利へ進むべき状況だ」と、確かな手ごたえを強調。また、「襟を正してしっかりと政治を刷新していく。国民の信頼にこたえる政治をしたい」と述べ、はじめ支援者が一丸と

選挙戦を通じて政治の信頼回復に努める考えを示した。後藤会長は選挙戦を通じて「国民の命、暮らしを守り抜くことは政治の責任。コロナ後の新しい時代を小松ゆたか候補が持つ政治家としての覚悟と不動の信念、政治への揺るがぬ情熱に支援の輪が大きく広がっている。

今こそ命! 今こそ小松! 小松ゆたか候補 3つの「信」

信念の小松

「医療と政治を繋ぐ架け橋になる」という決意で政治を志し、党長野県第一選挙区支部長の公募をきっかけに医師から政治家に転身した小松ゆたかさん。その信念が揺らぐことはありません。大きな災害、そして新型コロナウイルスとの戦いにある今こそ、小松ゆたかさんは県民の命を守ることができる即戦力となる政治家です。

命と暮らし、地域経済が危機にある今こそ小松ゆたかさんの信念が政治に求められています。

信頼の小松

小松ゆたかさんは誠実、真面目、寡黙な仕事人です。あらゆることに実直に取り組む小松さんは、おかしいことには「おかしい」と言える人です。あやふやでバラバラな政策を掲げる無責任な野党統一候補には、この国の政治を任せるわけにはいきません。政治、行政への信頼を取り戻すには小松ゆたかさんが必要です。

信州の小松

信州に生まれ、信州に育ち、小中高大学と信州で教育を受けた小松ゆたかさん。信州大学医学部で学び、信州から東京へ、そして世界の医療現場で活躍してきました。小松ゆたかさんは今、政治家としてふるさと信州に恩返しをしたい思いにあふれています。ふるさと信州のために必ず働きます。信州に生まれた小松ゆたかさんを、皆さんが参議院議員として、大きく育ててください。

期日前投票へ行こう

コロナ下で行われている選挙戦。全国的にも期日前投票を行う有権者の割合が高まっています。期日前投票は手ぶらでも大丈夫。身分証明書があればよりスムーズに手続きできます。投票日に投票できない「理由」に〇印を記入するだけで期日前投票ができます。新型コロナウイルスの感染予防もその理由になります。

長野県選挙管理委員会では全77市町村に計181カ所の期日前投票所を設置し、4月9日から投票が始まりました。

各地の期日前投票所はこちらからご確認ください➡



小松ゆたか候補のプロフィール

長野県諏訪市出身、昭和36年松本市で生まれる。伊那小学校、高島小学校、諏訪中学校、諏訪清陵高校を経て、信州大学医学部卒業。東京大学病院、国立スポーツ科学センターなどで内科医・スポーツドクターとして活躍。平成24年公募により党長野県第一選挙区支部長に選任され、同年12月の総選挙で初当選。平成26年に再選。2期5年衆院議員を務めた。



HP



Twitter



Facebook